

中央アジア5か国 日本語学習者訪日研修 ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、 タジキスタン、トルクメニスタンから約100名が初来日

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)関西国際センターでは、2016年4月から5月にかけて、中央アジア5か国(ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン)から、日本語を専攻する大学生や日本語学校に通う方など、日本文化に関心を持ち、情熱を持って日本語を学ぶ合計約100名の若者たちを招へいします。中央アジア5か国からこの規模での訪日研修は初めてのことで、今後ますます重要になる日本と中央アジアとの交流促進を図ります。

今回の招へい事業は、昨年安倍晋三首相が中央アジア歴訪で発表した、日本と中央アジア各国との人的交流・青少年交流・文化交流の強化に言及した共同声明をうけて実現したものです。研修では、母国で学んだ日本語をさらに磨くべく、対話を中心とした日本語の授業のほか、和太鼓や茶道などを体験します。また、実際に日本の家庭を訪れ、料理を一緒に作ったり、近所の散策をしたりと、ご家族と日本語での会話を楽しみながら日本の生活を知る機会を提供するとともに、広島、京都、大阪の市内を巡る研修旅行にも行き、参加者の日本語および日本文化・社会への理解を深め、今後の日本語学習奨励の一助となることを期待しています。

今後日本と中央アジア各国との架け橋として活躍することが期待される若者たちについて、ぜひご取材いただけますと幸いです。訪問日程の詳細、ご取材については、研修担当者へお問い合わせください。

■概要

【招へい者】: 中央アジア5か国の日本語学習者 約100名
(ウズベキスタン共和国、カザフスタン共和国、キルギス共和国、タジキスタン共和国、トルクメニスタン)

【期間・招へい人数】: 第1期 2016年4月12日(火)～4月26日(火) 15日間(約50名)
第2期 2016年5月11日(水)～5月25日(水) 15日間(約50名)

【研修内容】: 日本語の授業
ホームビジット(地元の方との交流)
研修旅行(広島・京都・大阪)
日本文化体験(着付け、和太鼓、茶道、書道、生け花、合気柔術) ほか

国際交流基金 関西国際センターについて <http://www.jfkc.jp/>

1997年5月に国際交流基金の附属機関として設立された日本語研修施設。主に、海外の各国の外交官、公務員や日本研究を行う研究者などを日本に招へいし、それぞれの職務や研究に役立つ専門日本語の研修を行なっているほか、日本語学習者を奨励する訪日研修を実施。また、地域における国際交流の推進のため、周辺の自治体やNPO等の団体と協力して、研修生と地域の人々との様々な交流を行っている。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ:

国際交流基金 関西国際センター 教育事業チーム (第1期担当:小野寺、第2期担当:室岡・宮本)

Tel: 072-490-2601 / E-mail: (第1期) Kento_Onodera@jpf.go.jp

(第2期) Yukiko_Murooka@jpf.go.jp、Chikako_Miyamoto@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp